

科目ナンバー	C8901						
授業科目	在宅保育	要件	ベビーシッター必修	授業形態	講義	対象学生	ⅡAⅢCD
実施期	後期	単位数	2単位	授業担当者	岩本健一・高橋千香子 飯田恵美子・村上今日子		
<b>【科目の概要】</b>							
保護者の自宅において保育に当たる在宅保育について、その概論や現状を学び、施設保育との違いやベビーシッターの役割、基本姿勢や保育技術を実践的に学ぶ。							
<b>【この科目を通して獲得を目指す力】</b>							<b>【関連DP】</b>
ア	保育の社会的背景と地域における様々な子育て支援の現状を知り、在宅保育の特性や子育て支援についての基礎的知識を身に付ける。						1-c 1-e
イ	子どもの集団生活の最小単位である家庭と成長発達に即した援助を、今まで学習した知識を統合して考えることができる。						2-c 3-c
ウ	ベビーシッターの資格を目指すものとして、自分の容姿や学習姿勢を見直し、改善することができる。						1-a 4-a
<b>【授業の内容】</b>					<b>【実施日】</b>	<b>【授業時間外学習の内容】</b>	
1	オリエンテーション	家庭訪問保育とは(飯田) 家庭訪問保育者としての心得 保育マインド			月 日	シラバスの熟読 (1時間) 保育マインドについての振り返り	
2	乳幼児の生活と遊び(飯田)				月 日	教科書該当ページの予習復習 (1時間)	
3	乳幼児の発達と心理(高橋)				月 日	教科書該当ページの予習復習 (1時間)	
4	乳幼児の栄養と食事(村上)				月 日	アレルギー食について振り返り (1時間)	
5	子どもの保健Ⅰ・Ⅱ(村上)				月 日	子どもの健康管理の注意点整理 (1時間)	
6	心肺蘇生法(実技講習)(村上)				月 日	事故事例ワーク	
7	子ども虐待(岩本)				月 日	教科書該当ページの予習復習 (1時間)	
8	居宅訪問型保育の実際 概要・保育内容(飯田)				月 日	教科書該当ページの予習復習 (1時間)	
9	居宅訪問型保育の実際 環境整備・運営(飯田)				月 日	教科書該当ページの予習復習 (1時間)	
10	安全の確保とリスクマネジメント(飯田)				月 日	リスクマネジメントの整理 (1時間)	
11	居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項 居宅訪問型保育における保護者への対応(飯田)				月 日	教科書該当ページの予習復習 (1時間)	
12	特別に配慮を要する子どもへの対応(飯田)				月 日	教科書該当ページの予習復習 (1時間)	
13	一般型家庭訪問保育の業務の流れ・様々な家庭訪問保育(飯田)				月 日	教科書該当ページの予習復習 (1時間)	
14	保育技術 (お世話編)(飯田)				月 日	在宅での保育技術の振り返り	
15	保育技術 (遊び編)(飯田)				月 日	在宅での保育技術の振り返り	
16	試験(飯田)				月 日		
<b>【教科書・テキスト】</b>					<b>【成績評価の方法】</b>		
公益社団法人 全国保育サービス協会 監修 「家庭訪問保育の理論と実際」 中央法規					出席状況・学習態度 20% 筆記試験 80%		
<b>【参考書・教材】</b>							
適宜紹介する。 ベビーシッター資格認定試験過去問題集 公益社団法人全国保育サービス協会							
<b>【履修要件及び履修上の注意事項】</b>							
教員に関係なく、合計して6回以上の欠席があった場合は単位が認められずベビーシッターの資格も取得できない。終講試験は各担当教員の内容を総合して行う。教員により、授業曜日や時間が異なり、上記の内容順に進まないこともあるので注意すること。							
<b>【履修上の遵守事項】</b>							
オリエンテーション時に、全体を通しての課題を渡します。プログレス室に、ベビーシッター資格認定試験問題集があります。各自自己学習しておくこと。							
<b>【連絡先・オフィスアワー】</b>							
連絡先：				オフィスアワー：			

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア ①	在宅保育の意義や役割		社会の変化に伴う子育ての困難さを述べることができる。	地域における子育て支援の現状を述べることができる。	在宅保育の社会的役割やメリットについて述べるができる。
ア ②	家庭訪問保育者として必要な知識と技能		ベビーシッターの仕事の実際と流れを述べるができる。	さまざまなベビーシッターサービスを述べることができる。	ベビーシッターのマネジメント（事業所の役割やリスクマネジメントなど）を述べることができる。
イ ①	子どもの発達課題に応じた在宅の保育養護技術		在宅での生活（保育）援助と遊びの方法を述べるができる。	子どもの発達段階に応じた生活（保育）援助や在宅で行える遊びを実施できる。	在宅での様々な場面で、子どもの発達段階に応じたほめ方、叱り方ができる。
イ ②	在宅における子どもの病気やケガの予防、および対応		在宅での応急手当や事故防止の方法を述べるができる。	助言の下、在宅での突然の発熱や嘔吐、ケガなどの応急手当や事故防止を考えることができる。	今までの知識を統合し、在宅での突然の発熱や嘔吐、ケガなどの応急手当や、事故の防止、救急連絡ができる。
ウ ①	与えられた課題への取組		与えられた課題を、期限を守り提出する。	与えられた課題を、教科書や授業で学んだことから確実に書いている。	与えられた課題を、今までの学習を活用し、発展させようと努力しながら書くことができる。
ウ ②	家庭訪問保育者としての職業倫理と基本的姿勢		家庭訪問保育者としての心構えを述べることができる。	家庭訪問保育者として、自分の容姿やマナーを見直すことができる。	家庭訪問保育者としての職業倫理をもち、自分の姿勢を見直し改善することができる。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					